

履歴書

北村 友宏（きたむら ともひろ）

追手門学院大学経済学部 講師

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1 番 1 号

Email: t-kitamura@haruka.otemon.ac.jp

URL: <https://tomkitamura.static.jp/>

本籍：大阪府

学歴

2009 年 3 月 大阪府立枚方高等学校卒業

2009 年 4 月 大阪府立大学経済学部経済学科入学

2013 年 3 月 大阪府立大学経済学部経済学科卒業，学士（経済学）取得

2013 年 4 月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程入学

2015 年 3 月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了，修士（経済学）取得

2015 年 4 月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程入学

2018 年 3 月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程修了，博士（経済学）取得

職歴

2016 年 4 月—2018 年 3 月 日本学術振興会特別研究員 (DC2)

2018 年 4 月—2021 年 3 月 神戸大学大学院経済学研究科講師

2021 年 4 月—2024 年 3 月 同志社大学商学部助教

2024 年 4 月—2025 年 3 月 福山大学経済学部講師

2025 年 4 月—現在 追手門学院大学経済学部講師

教育歴

・ 追手門学院大学経済学部講師

1. 『ビジネス数理スキル（基礎）』，追手門学院大学経済学部開講，2025 年 4 月—7 月
2. 『統計学総論』，追手門学院大学経済学部開講，2025 年 4 月—7 月
3. 『実践基礎経済学』，追手門学院大学経済学部開講，2025 年 4 月—7 月
4. 『経済理論・経済史特殊講義 D』，追手門学院大学経済学部開講，2025 年 4 月—7 月

• 福山大学経済学部講師

1. 『経済統計学Ⅰ』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—8月
2. 『計量経済学』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—8月
3. 『ミクロ経済学入門』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—8月
4. 『教養ゼミ』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—2025年1月
5. 『基礎ゼミ』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—2025年1月
6. 『経済学演習Ⅱ』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—2025年1月
7. 『卒業論文』, 福山大学経済学部開講, 2024年4月—2025年1月
8. 『経済統計学Ⅱ』, 福山大学経済学部開講, 2024年9月—2025年2月
9. 『ミクロ経済学入門』, 福山大学経済学部開講, 2024年9月—2025年2月

• 同志社大学商学部助教

1. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2021年4月—7月
2. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2021年9月—2022年1月
3. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2022年4月—7月
4. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2022年9月—2023年1月
5. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2023年4月—7月
6. 『基本統計学』, 同志社大学商学部開講, 2023年9月—2024年1月

• 神戸大学大学院経済学研究科講師

1. 『中級ミクロ経済学Ⅰ（再履修）』, 神戸大学経済学部開講, 2018年4月—6月
2. 『ミクロデータ分析Ⅰ』, 神戸大学経済学部開講, 2018年4月—7月
3. 『中級ミクロ経済学Ⅱ（再履修）』, 神戸大学経済学部開講, 2018年6月—8月
4. 『経済学A』, 神戸大学全学共通授業科目, 2018年6月—8月
5. 『統計学演習』, 神戸大学経済学部開講, 2018年6月—7月
6. 『ミクロデータ分析Ⅱ』, 神戸大学経済学部開講, 2018年10月—2019年2月
7. 『ミクロデータ分析』, 神戸大学大学院経済学研究科開講, 2018年10月—2019年2月
8. 『初年次セミナー』, 神戸大学経済学部開講, 2019年4月—5月
9. 『外書演習』, 神戸大学経済学部開講, 2019年4月—7月
10. 『ミクロデータ分析Ⅰ』, 神戸大学経済学部開講, 2019年4月—7月
11. 『基礎演習』, 神戸大学経済学部開講, 2019年6月—7月
12. 『ミクロデータ分析Ⅱ』, 神戸大学経済学部開講, 2019年10月—2020年1月
13. 『ミクロデータ分析』, 神戸大学大学院経済学研究科開講, 2019年10月—2020年2月
14. 『経済学A』, 神戸大学全学共通授業科目, 2019年12月—2020年1月
15. 『初年次セミナー』, 神戸大学経済学部開講, 2020年5月—2020年6月
16. 『ミクロデータ分析Ⅰ』, 神戸大学経済学部開講, 2020年5月—2020年7月
17. 『基礎演習』, 神戸大学経済学部開講, 2020年6月—2020年8月
18. 『経済学A』, 神戸大学全学共通授業科目, 2020年7月—2020年8月
19. 『ミクロデータ分析Ⅱ』, 神戸大学経済学部開講, 2020年10月—2021年1月
20. 『ミクロデータ分析』, 神戸大学大学院経済学研究科開講, 2020年10月—2021年1月

• 非常勤講師

- 1.『数学補習プログラム（社会人院生向け）』，神戸大学大学院経済学研究科開講，2016 年 3 月
 - 2.『ミクロ経済学』，近畿大学経営学部開講，2021 年 9 月—2022 年 1 月
 - 3.『ミクロ経済学』，近畿大学経営学部開講，2022 年 9 月—2023 年 1 月
 - 4.『ミクロ経済学』，近畿大学経営学部開講，2023 年 9 月—2024 年 2 月
 - 5.『計量経済学 2』，大阪公立大学経済学部開講，2024 年 10 月—2025 年 1 月
 - 6.『基礎研究 D：計量分析 2』，大阪公立大学大学院経済学研究科開講，2024 年 10 月—2025 年 1 月
- シニア・ティーチング・アシスタント
 - 1.『計量分析演習』，神戸大学大学院経済学研究科開講，佐藤純恵講師担当，2016 年 12 月—2017 年 2 月
(担当教員の職位は当時のもの)
 - ティーチング・アシスタント
 - 1.『ミクロ計量分析』，神戸大学大学院経済学研究科開講，奥山尚子准教授担当，2015 年 4 月—7 月
 - 2.『パネル分析の基本的なトピック』，神戸大学大学院経済学研究科開講，北村行伸・一橋大学経済研究所教授担当，2015 年 8 月
 - 3.『応用計量経済分析』，神戸大学大学院経済学研究科開講，奥山尚子准教授担当，2015 年 10 月—2016 年 1 月
 - 4.『初級経済学』，神戸大学経済学部開講，宮崎智視准教授担当，2016 年 4 月—6 月
 - 5.『初級経済学』，神戸大学経済学部開講，芦谷政浩教授担当，2017 年 4 月—6 月
(担当教員の所属・職位は当時のもの)

高等学校出張講義

1. 兵庫県立小野高等学校，2018 年 6 月
2. 兵庫県立明石北高等学校，2019 年 7 月
3. 比叡山高等学校，2025 年 7 月

受賞歴

- 1.「優秀卒業論文賞」，大阪府立大学経済学会，2013 年 3 月
- 2.「白鷺賞」，大阪府立大学，2013 年 3 月
- 3.「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」，公益財団法人 神戸大学六甲台後援会，2014 年 6 月

研究助成金の獲得状況

1. 科学研究費補助金（特別研究員奨励費：16J06356），「鉄道事業におけるサービスの質と効率性に関する実証分析と計量モデルの開発」，日本学術振興会，2016 年 4 月—2018 年 3 月
2. 日本交通政策研究会研究プロジェクト（若手研究），「軌道改良が鉄道事業者の線路メンテナンス費用に与える長期的効果」，日本交通政策研究会，2019 年 4 月—2020 年 3 月
3. 科学研究費補助金（若手研究：20K13483），「下水道事業における下水排除方式と費用に関する実証研

究」，日本学術振興会，2020 年 4 月—2022 年 3 月

研究プロジェクトへの参加状況

1. 国土交通省下水道技術研究開発（GAIA プロジェクト）「我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測」（研究代表者：浦上拓也・近畿大学経営学部教授），2018 年 9 月—2021 年 2 月
2. 科学研究費補助金（基盤研究 (C)：21K01473），「日本の上下水道事業における最適産業構造のあり方に関する実証的研究」（研究代表者：浦上拓也・近畿大学経営学部教授），日本学術振興会，2021 年 4 月—2024 年 3 月
3. 日本交通政策研究会研究プロジェクト（自主研究），「ポストコロナ社会における地域経済と官民連携のあり方に関する調査研究」（研究代表者：宮崎智視・神戸大学大学院経済学研究科教授），日本交通政策研究会，2023 年 4 月—2024 年 3 月
4. 科学研究費補助金（国際共同研究加速基金 (海外連携研究)：23KK0031），「加速する人口減少下における持続可能な上下水道サービスに関する実証的研究」（研究代表者：田中智泰・近畿大学経営学部教授），日本学術振興会，2023 年 9 月—2027 年 3 月（予定）
5. 日本交通政策研究会研究プロジェクト（自主研究），「ポストコロナ社会における官民連携と地域における公共インフラ・公共投資の諸問題に関する調査研究」（研究代表者：宮崎智視・神戸大学大学院経済学研究科教授），日本交通政策研究会，2024 年 4 月—2025 年 3 月

所属学会

1. 日本経済学会，2015 年 5 月—現在
2. 応用地域学会，2015 年 11 月—現在
3. 国際公共経済学会，2016 年 1 月—現在
4. The Econometric Society，2017 年 1 月—現在
5. 公益事業学会，2018 年 4 月—現在
6. 日本経済政策学会，2018 年 5 月—現在
7. 日本交通学会，2020 年 5 月—現在

査読経験

1. The International Journal of Economic Policy Studies
2. Regional Science, Policy and Practice
3. Fisheries Science
4. 交通学研究

学会委員経験

1. 第 20 回日本経済政策学会国際会議運営委員

専門分野

1. 交通経済学
2. 産業組織論
3. 応用計量経済学

業績リスト

博士論文

1. "Empirical Studies on Efficiency, Economies of Density, and Productivity of Railroad Companies in Japan."
2017 年 12 月提出（論文審査委員：萩原泰治教授（主査）・柳川隆教授（副査）・難波明生教授（副査））

著書

1. 公益事業学会関西若手研究会編（2023）『公益事業の再構築』第 4 章「鉄道事業の存続問題や安全性への対策」pp.35-42 執筆，関西学院大学出版会。

採択された論文（査読あり）

1. Kitamura, Tomohiro. (2018) "Effect of Passengers' Types on Railroad Efficiency: Distance Function Approach," *International Public Economy Studies* (『国際公共経済研究』) 29, 97-105.
2. Kitamura, Tomohiro. (2020) "Long-run Impact of Track Improvements on Railroad Track Maintenance Cost: Empirical Analysis Using Distributed Lag Model," *International Public Economy Studies* (『国際公共経済研究』) 31, 54-65.

採択された論文（査読なし）

1. Kitamura, Tomohiro. (2019) "Productivity Analysis of Vertical Integrated Management of Water and Sewerage Industries in Japan," *International Public Economy Studies* (『国際公共経済研究』) 30, 67-77.
2. 北村友宏（2020）「日本における下水道事業のメタフロンティア分析」『国民経済雑誌』222(4), 59-72.
3. 北村友宏（2023a）「同時性に対処した鉄道事業の生産関数の推定」『同志社商学』74(4・5), 41-52.
4. 北村友宏（2023b）「下水排除方式の違いを考慮した下水道事業の効率性評価——パネルデータによるメタフロンティア分析——」『同志社商学』74(6), 91-105.
5. 北村友宏（2023c）「日本における鉄道事業の存続問題とその対策」『同志社商学』75(3), 121-131.

ディスカッション・ペーパー

1. Kitamura, Tomohiro. (2018) "Long-run Impact of Track Improvements on Railroad Productivity," Discussion Papers 1825, Graduate School of Economics, Kobe University.
2. 北村友宏（2020）「上下水道事業における多様化の経済性」Discussion Papers 2005, Graduate School of Economics, Kobe University.

ワーキング・ペーパー

1. Urakami, Takuya, Tomoyasu Tanaka, Takayoshi Nakaoka, and Tomohiro Kitamura. (2019) "Wide Area Consolidation and Vertical Integration of the Japanese Sewerage Industry: an Initial Analysis," Working Paper No. 2019-04, Faculty of Business Administration, Kindai University.
2. 浦上拓也・田中智泰・中岡孝剛・北村友宏（2020）「国土交通省下水道技術研究開発（GAIA プロジェクト）我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測 アンケート調査 1 次集計結果」Working Paper No. 2020-01, Faculty of Business Administration, Kindai University.

紀要論文

1. 北村友宏（2019）「データの入手から計量分析まで」『経済学・経営学学習のために』神戸大学経済経営学会，平成 31 年度前期号，19-27.

未公刊論文

1. Kitamura, Tomohiro. "The Effect of Capital Subsidies on Rail Efficiency: Empirical Analysis Using Stochastic Frontier with Endogeneity and Propensity Score."
2. Kitamura, Tomohiro. "A Comparison of Marginal Cost and Fare of Regional Railroad Companies in Japan: A Hedonic Cost Function Approach," Preparing revision and Resubmission to *Journal of Transport Economics and Policy*.
3. 大岡一馬・北村友宏「地方財政における効率性に関する実証分析 ―非正規職員雇用に焦点を当てて―」『経済政策ジャーナル』に投稿中

研究報告（国際会議・査読あり）

1. The 7th Asian Seminar in Regional Science, "Returns to Density of Regional Railroad Companies in Japan," Oral, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, September 2017.
2. The 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association, "Returns to Density of Regional Railroad Companies in Japan," Oral, Okinawa Jichikaikan Hall, Okinawa, Japan, November 2017.
3. The 9th Asian Conference in Regional Science, "Difference in Productivity between Water-Sewerage Integrated Systems and Separated Systems: Evidence from Japan," Oral, Shanghai University, Shanghai, China, April 2019.
4. The 16th European Workshop on Efficiency and Productivity Analysis, "Difference in Productivity between Water-Sewerage Integrated Systems and Separated Systems: Evidence from Japan," Oral, Senate House, London, the United Kingdom, June 2019.
5. The 59th Congress of the European Regional Science Association, "Difference in Productivity between

Water-Sewerage Integrated Systems and Separated Systems: Evidence from Japan," Oral, the University of Lyon, Lyon, France, August 2019.

6. The 11th (virtual) North American Productivity Workshop, "Economies of Diversification in Water Supply and Sewerage Treatment: Distance Function Approach," Oral, the Miami Herbert Business School, University of Miami, Miami, the United States, June 2020 (Web meeting).
7. The 10th Asian Conference in Regional Science, "Long-run Impact of Track Improvements on Railroad Track Maintenance Cost: Distributed Lag Model Approach," Oral, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, October 2020 (Web meeting).
8. North American Productivity Workshop 2023, "A Comparison of Marginal Cost and Fare of Regional Railroad Companies in Japan: A Hedonic Cost Function Approach," Oral, the Miami Herbert Business School, University of Miami, Miami, the United States, June 2023.
9. European Workshop on Efficiency and Productivity Analysis 2024, "How Does the Plant Level Fragmentation in Sewage Treatment Influence Municipal Level Economies of Scale? (Joint with David Saal, Takuya Urakami, and Pablo Arocena)," Oral, University of Algarve, Algarve, Portugal, June 2024.
10. North American Productivity Workshop 2025, "Railroad Efficiency Measurement Incorporating Train Operation Accidents," Oral, Virginia Tech, Arlington, the United States, June 2025.

研究報告（国際会議・査読なし）

1. CPP Brown Bag, "Diversification Economies in Water Supply and Sewage Treatment: Evidence from Japan," Oral, Loughborough University, Loughborough, the United Kingdom, May 2020 (Web meeting).

研究報告（国内学会・査読あり）

1. 『日本経済学会 2015 年度春季大会』（新潟大学）, 「資本費補助が鉄道事業者の効率性に与える影響 — 内生性を考慮した確率的フロンティア分析 —」, ポスター報告, 2015 年 5 月
2. 『国際公共経済学会第 4 回春季大会』（大東文化大学）, "The Impact of Track Improvement on Railroad Productivity," 口頭報告, 2016 年 3 月
3. 『日本経済学会 2016 年度春季大会』（名古屋大学）, "The Impact of Track Improvement on Railroad Productivity," ポスター報告, 2016 年 6 月
4. 『国際公共経済学会第 6 回春季大会』（島根県民会館）, "Effect of Passengers' Types on Railroad Efficiency: Distance Function Approach," 口頭報告, 2018 年 3 月
5. 『国際公共経済学会第 7 回春季大会』（東京交通短期大学）, 「上下水道統合の生産性分析」, 口頭報告, 2019 年 3 月
6. 『公益事業学会第 69 回 2019 年度全国大会』（名古屋市立大学）, 「上下水道統合の生産性分析」, 口頭報告, 2019 年 6 月
7. 『国際公共経済学会第 34 回研究大会』（高崎経済大学）, 「軌道改良が鉄道事業者の線路メンテナンス費用に与える長期的効果：分布ラグモデルによる実証分析」, 口頭報告, 2019 年 12 月
8. 『公益事業学会第 70 回 2020 年度全国大会』（神戸大学, オンライン開催）, 「同時性に対処した鉄道事業

の生産関数の推定」, 口頭報告, 2021 年 2 月

研究報告 (国内学会等・査読なし)

1. 『2014 年度 (第 22 回) 関西計量経済学会』(大阪大学), 「資本費補助が鉄道事業者の効率性に与える影響 ―内生性を考慮した確率的フロンティア分析―」, 口頭報告, 2015 年 1 月
2. 『第 16 回若手研究者による経済学会』(大阪大学), "The Effect of Capital Subsidies on Rail Efficiency: Empirical Analysis Using Stochastic Frontier with Endogeneity and Propensity Score," 口頭報告, 2015 年 4 月
3. 『第 86 回ランチタイム・ワークショップ』(京都大学), "The Effect of Capital Subsidies on Rail Efficiency: Empirical Analysis Using Stochastic Frontier with Endogeneity and Propensity Score," 口頭報告, 2015 年 5 月
4. 『第 72 回 Applied Microeconomic Theory Workshop: 応用ミクロ理論ワークショップ』(大阪大学), "The Effect of Capital Subsidies on Rail Efficiency: Empirical Analysis Using Stochastic Frontier with Endogeneity and Propensity Score," 口頭報告, 2015 年 5 月
5. 『Urban Economics Workshop』(京都大学), "Output Endogeneity in Railroad Cost Function," 口頭報告, 2015 年 9 月
6. 『第 30 回応用地域学会研究発表大会』(神戸大学), "Econometric Analysis of Track Improvements and Railroad Cost," 口頭報告, 2016 年 11 月
7. 『2017 年度 (第 25 回) 関西計量経済学会』(神戸大学), "Returns to Density of Regional Railroad Companies in Japan: Hedonic Cost Function Approach," 口頭報告, 2018 年 1 月
8. 『公益事業学会関西支部 若手研究会』(関西電力), 「軌道改良が鉄道事業者の生産性に与える長期的効果」, 口頭報告, 2018 年 12 月
9. 『第 33 回応用地域学会研究発表大会』(佐賀大学), 「軌道改良が鉄道事業者の線路メンテナンス費用に与える長期的効果」, 口頭報告, 2019 年 11 月
10. 『Kobe Transportation Management Workshop』(神戸大学), "Returns to Density of Regional Railroad Companies in Japan: Hedonic Cost Function Approach," 口頭報告, 2020 年 1 月
11. 『第 592 回経済学会例会』(神戸大学, オンライン開催), "Accounting for Populations Settlement Patterns and Outsourcing in the Estimation of Returns to Scale and Efficiency of Japanese Public Sewer Systems (Joint with David Saal, Takuya Urakami, and Maria Nieswand)," 口頭報告, 2020 年 5 月
12. 『下水道ワークショップ』(近畿大学, オンライン開催), 「上下水道事業における一体的運営の効果」, 口頭報告, 2021 年 2 月
13. 『第 7 回 Center for Regional Economic Studies Workshop』(佐賀大学), 「日本における地方鉄道の限界費用と運賃の比較 ―ヘドニック費用関数による限界費用の計測―」, 口頭報告, 2021 年 3 月
14. 『六甲台財政・公共経済セミナー』(神戸大学, オンライン開催), "Diversification Economies of the Water and Sewerage Industries in Japan" (Joint with David Saal and Takuya Urakami)," 口頭報告, 2021 年 9 月
15. 『同志社大学商学会 (新任教員) 研究報告会』(同志社大学, オンライン開催)「上下水道事業における一体的運営の効果」, 口頭報告, 2021 年 12 月
16. 『公益事業学会関西支部 若手研究会』(関西電力), 「鉄道事業の存続問題や安全性への対策」, 口頭報告,

2022 年 12 月

17. 経済学部研究会（追手門学院大学）"Railroad Efficiency Measurement Incorporating Train Operation Accidents,"口頭報告, 2025 年 7 月

学会討論者

1. The 17th International Conference of the Japan Economic Policy Association, "Productivity Changes in the Vietnamese Manufacturing Sector through the Period of WTO Participation" by Tadashi Sonoda, Keio University, Fujisawa, Japan, October 2018.
2. The 9th Asian Conference in Regional Science, "Does Firm Turnover Benefit or Hurt Industry Productivity?" by Xiaoying Qian, Shanghai University, Shanghai, China, April 2019.
3. The 18th International Conference of the Japan Economic Policy Association, "Population and Human Capital as Key Factors of Economic Growth in Israel" by Magdalena Osinska, Chuo University, Tokyo, Japan, November 2019.
4. 『第 7 回 Center for Regional Economic Studies Workshop』（佐賀大学），吉田友紀「コロナ後経済における望ましい企業再生・再編手法」, 2021 年 3 月
5. The 20th International Conference of the Japan Economic Policy Association, "The Impact of Lock-in Effect on Costs in Comprehensive Outsourcing Contract: Empirical Analysis of Japanese Sanitation Businesses" by Eri Nakamura, University of Tokyo, Tokyo, Japan, November 2021 (Web meeting).
6. 『第 35 回 応用地域学会研究発表大会』（金沢大学, オンライン開催）, 亀山嘉大「低公害燃料車所有の規定要因に関するパネルデータ分析」, 2021 年 11 月
7. 『国際公共経済学会 第 38 回研究大会』（情報経営イノベーション専門職大学）, 花田真一「Web 調査の地方部における活用可能性の検討 ～東京と比較して」, 2023 年 12 月
8. 『国際公共経済学会 第 39 回研究大会』（情報経営イノベーション専門職大学）, "Trading Costs in the Standard Model of International Trade," by Variya Kunapasut, 2024 年 12 月
9. 『公益事業学会 2025 年度全国大会』（桃山学院大学）, 新井海斗『PPP と公立病院の非効率性－確率的フロンティア法を用いた分析－』, 2023 年 12 月

学会座長

1. The 9th Asian Conference in Regional Science, "Session 7: Regional Development I," Shanghai University, Shanghai, China, April 2019.
2. The 16th European Workshop on Efficiency and Productivity Analysis, "TH-D-7: Applications 7," Senate House, London, the United Kingdom, June 2019.
3. The 11th (virtual) North American Productivity Workshop, "Applications IV," the Miami Herbert Business School, University of Miami, Miami, the United States, June 2020 (Web meeting).
4. North American Productivity Workshop 2023, "Regulation, Marginal Cost and Catch-Up," the Miami Herbert Business School, University of Miami, Miami, the United States, June 2023.

その他の業績

1. 『我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測報告書』（浦上拓也・近畿大学経営学部教授，田中智泰・近畿大学経営学部准教授，中岡孝剛・近畿大学経営学部准教授との共同執筆），我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測共同研究体，2019 年 2 月
2. 『我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測報告書』（浦上拓也・近畿大学経営学部教授，田中智泰・近畿大学経営学部教授，中岡孝剛・近畿大学経営学部准教授との共同執筆），我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測共同研究体，2020 年 2 月
3. 「軌道改良が鉄道事業者の線路メンテナンス費用に与える長期的効果」『日交研シリーズ』A-781，軌道改良が鉄道事業者の線路メンテナンス費用に与える長期的効果プロジェクト，公益社団法人日本交通政策研究会，2020 年 6 月
4. 『我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測報告書』（浦上拓也・近畿大学経営学部教授，田中智泰・近畿大学経営学部教授，中岡孝剛・近畿大学経営学部准教授との共同執筆），我が国下水道事業における広域化・共同化および官民連携の取り組みに関する生産性・効率性の計測共同研究体，2021 年 2 月

（共同執筆者の職位は当時のもの）

最終更新日：2025 年 7 月 27 日